



いっぺいといっふく

市長のまちづくりにかける想いを市長の語り口でお伝えします。
市HP「によぜがもん」もぜひご覧ください。

Vol.99 思いどおりにならないもの

先日、この春から市立保育園で働いてくれている新人保育士8人と懇談をしました。「子どもが泣き止んでくれないときは大変だけど、笑ってくれると本当にうれしい」といった話や、先生や保護者との人間関係の話も出ました。また、「長久手は自然が多くていい」という意見もありました。

私からは、こんな話をさせていただきました。

- ・自然とは木や草、虫だけでなく、子どもも、職場の先生も、保護者も、全部が自然の一部であること。
- ・自分のことですら、自分の思うようにはならない。自分だけでなく、自分の周りにいる人たちも自然であり、特に子どもは、自然の最たるもので、決して周りにいる大人の思うようにはならないこと。
- ・多くの仕事には「いつまでに終わる」という目安があるけれど、自然を相手にするあなたたちの仕事は、終わりがなくて大変な仕事であること。

そして、「いつもありがとう」と伝えました。

ほんの50年ほど前まで、長久手にも田んぼや畑を耕し、思うようにならない自然を相手に暮らしていた人たちが大勢いました。田植えや稲刈りのときには、家族だけでなく、ご近所の力も借り、互いに助け合わないと暮らしていけませんでした。貧しかった先人達は、「子ども達には同じ思いをさせまい」と、田んぼを埋め、山を削って、土地区画整理事業を進め、今の便利で快適な長久手を作り上げてくれました。

今の私達が求める便利な暮らしは、自然から離れて暮らすことで成り立っているように思います。山や海へ旅行して、「やっぱり自然はいい」と言いますが、それは自分の都合のいいときに、自然のいい部分を見た感想です。わずらわしい人間関係はできるだけ避ける風潮もあります。自然から離れて暮らすうちに、「自然は自分の思うようにはならない」という当たり前のことすら、忘れてしまっているように感じます。

私達大人が子どもにできる最低限の教育とは、いわゆる自然、そして多様な人の中に身を置き、思うようにならないことを体で学ぶ機会を子どもたちに与えることではないかと私は思うのです。それは、私達大人にこそ、必要な学びかもしれません。

自然から学ぶことで、思いどおりにならない自分を受け入れ、自分を許せるようになれば、「こうでなければならぬ」「こうあるべきだ」とは違う角度から自分や周囲を見られるようになります。そうなれば、きっと生きていくことが楽になると思うのです。



ふれあい つながり みんなが楽しむまちづくり
こんにちは！西小学校区まちづくり協議会 検索 です。

総会 書面議決の結果

第1号～第5号の各議案において、いずれも賛成を多数いただき、承認されました。ご協力ありがとうございました。

- ◆配布世帯数 4,324世帯
- ◆回答数 311通(有効回答308通)
- ◆すべての議案が賛成多数で承認

ご意見への回答などは、西小学校区まちづくり協議会ホームページと西共生ステーションで報告します。

☎0561-64-5331 西小学校区共生ステーション
Eメール nishi.no.machikyo@gmail.com

市が洞 小学校区まちづくり協議会
0561-61-5914

■内容の濃い3年ぶりの総会でした！

5月22日(日)に第4回通常総会を市が洞小学校の体育館で行いました。コロナ禍ではありましたが、重要議案の会長交代と規約改正があり、敢えて対面での総会開催を選択しました。

注目すべきは子育て世代と思われる若い方の建設的意見の連発でした！！

菊池利彦会長がご高齢を理由に副代表の佐々木博司氏にバトンタッチ。その後任に岡崎博子氏、蟹原・根の神自治会長の柴山始久氏が新役員として就任されました。

詳細はHPIに掲載します。



長久手市地域見守り安心ほっとライン

ご近所で「いつもと違う」と気づいたときはお電話ください

0561-63-5556

24時間
365日受付